

令和6年度 高校一般入学試験
バタバアコース

国語 (50分／100点満点)

《受験上の注意点》

1. 監督の先生の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 問題冊子は13ページ、解答用紙は1枚あります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入してください。
4. 問題冊子・解答用紙に受験番号と氏名を記入してください。
5. 問題冊子・解答用紙の回収については監督の先生の指示に従ってください。

受験番号	
氏名	

Kyoei 京都共栄学園高等学校

「一」次の文章をよく読んで以下の設問に答えなさい。出題の都合上、一部原文を改変した箇所があります。(60点)

この世に生まれてから今日までの人生を思い出してみてください。

様々な出会い、経験、それらがあなたに教えてくれたこと、今のあなたに導いてくれたこと。あなたに起こったことすべての瞬間が意味のあるものと変わるような、*ブレイクスルーを起こすきっかけとなってくれるのが逆境です。

逆境とは日常から、つまり私たちの外側から突然やってきます。

私たちの予測や意図していなかったこと、期待外れなこと、意外なこと、不快なこと、概念や信念の枠を超えたこと。それらの情報は逆境トライアングルを活性化し、私たちの記憶、感情、①思い込みに「待った」をかける作用を持ちます。

これは変化のタイミングというわけです。

変化の繰り返しにより、私たちは成長していき、より真の自分に気づき、さらに成長していこうとしていきます。人生という原稿に描かれる私たちの経験は、逆境により人それぞれの表現方法になり、最終的にはこの世に生まれていのちの数だけ異なった美しさを魅せてくれます。私たちが生まれてから死に至るまでその筆は一切止まることなく、一生を通して描き続けることとなります。

人生を通して、一つの逆境体験ともう一つの逆境体験が点と点のようにつながり、またさらに線と線がつながり、面になり、そしていつしか私たちの本質は立体的でダイナミックになっていきます。その姿が見えてきた時、歩んできた人生の意味を悟ります。

これから向き合うことになる逆境は、ステップを踏むことにより、その存在意義が理解できるようになり、ついにはあなたという人生について様々なことを教えてくれるようになります。そのなかの一つが X として開花するかもしれません。

逆境があなたに教えてくれることは大きく分けて二つあります。

それは「自分の内側を発見する力」と「自分の外側を創造していく力」です。

内側を見る力は、自分を知ること(インプット)として成長を促します。

自分を知るためにあなたの②内側に勇気を出して、飛び込んでいくことが必要です。ある意味、孤独になって内観していくことが重要となります。

孤独を感じると脳内ホルモンの③タキキニンが放出されます。「孤独を力に変えるタキキニン」です。タキキニンは一般的には孤独ホルモンともいわれ、一人の時間が続くことによって放出されるホルモンです。内側を覗いて今の自分の姿を観察するには、孤独という状態はじつはとても最適な環境です。

タキキニンは一見してあまりよくない印象を与えますが、実は内観力を高めるうえでなくてはならない重要なホルモン。孤独は怖い、面倒くさいと思っ、ついでに先送りしていると、そこにはただ年齢を重ねているだけのあなたがいることになってしまいます。

たとえば、コロナ禍に孤独を感じた方も多いのではないのでしょうか？ このコロナ禍という時間は、自分を知るのに最適なタイミングともいえるかもしれません。

闇の中にたたずみながらも、隙間から輝く光を探していく、つまりは現状を打破するための進化に必要なプロセスともいえるでしょう。

逆境体験でより深いあなたに触れて、*コンフォートゾーンを広げて、よりよい未来を描いてみてください。そうすれば常に進化したあなたに出会えるはずですよ。

④逆境が教えてくれるもう一つのこと、この世界にあなたの世界を融合させて、いかに貢献できるか（アウトプット）です。

自分の世界観を社会に浸透させていくことによって、よりよい世界を創造していきます。この過程では他者との絆が大切に なってきて、脳内にはオキシトシンが放出されます。こちらは「つながる力のオキシトシン」でしたね。

私たちがこの世に生を受けた瞬間を想像してみてください。きっと、たくさんの人に、祝福や愛を受けて、絆を感じたこと でしょう。オキシトシンに満たされているはずですよ。

対して死が訪れる時はどうでしょう？
体が不自由になり、記憶が衰退していき、孤独になっていく。なかには痛み、苦しみも患いながら息絶えていく方もいまし

た。脳内にはタキキニン全開モードです。そんな死の姿をこれまで何度か目にするようになりました。

これは僕が現在お仕事させていただいている現場で見た超高齢社会の現実です。

ここで何を言いたいのかというところ、死を喜びで迎えるためのコツです。

それは、いかに自分を利己的意識から解き放つことができるか、これにつきまします。

つまり、利他的意識です。その比率が上がれば上がるほど、私たちは恐れではなく、喜びにシフトできるようになります。そして、さらに多くの人に喜び、感謝、愛を伝える伝道者となります。逆境という体験を通して私たちは、利己発見を極めて、そのあとに利他的思考を高めていくのです。

簡単にいうと利己意識は自分に誇りを持ち、自分自身にどれだけたくさんのありがとうを伝えられるかどうか、利他意識は、全てのどんな人にもありがとうを伝えられるかということなんです。

その両者があなたに成長を届けてくれます。

⑤利己的思考が満たされたのち、利他的思考があなたの意識に占める割合が高くなっていくのです。そうやっていくとあなたの中で湧き上がってくるあらゆる恐れはなくなっていくことでしょう。死に対する恐れをも解き放ってくれるでしょう。じつはその時にはあなたはもはや孤独ではありません。反対に利己的であることにこだわりすぎると、生にしがみついているばかりに、孤独と恐れにとらわれてしまいます。

利他的意識であれば周りに感謝することができ、あなたの脳内にはオキシトシンによって満たされた穏やかな死を迎えることができます。同じオキシトシンに満たされているとはいっても生まれた時とはちよっと違う喜びの感覚になるでしょう。

これからの超高齢社会に向けて、健康寿命を延ばしていくためにも、たとえ肉体が衰えていっても、私たちに利他的意識があふれている限り、あなたがこの世で幸せになる道が開いていくのではないのでしょうか。

皆さんの人生の最後の一息が笑顔（肉体）と喜び（心）で迎えられますように。ぜひ、Yを手に入れて、人生をピカピカに磨き上げていきましょう。

（川崎康彦『ハーバードで学んだ 逆境の脳科学』）

*ブレイクスルーⅡ従来の壁を突破する画期的な出来事。

*コンフォートゾーンⅡ心理的に安心できる領域。

問一 傍線部①「思い込みに『待った』をかける」とはどういうことですか、次の中から最も適当と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア これまで思い込んでいたことに対して、本当にそうなのかと考え直す機会をくれるということ。
- イ 思い込みをしてしまう前に、今一度正しいかどうか再検討するチャンスをくれるということ。
- ウ これまではいろいろと思い込みをしてきたが、今後は思い込みをしないようにしてくれるということ。
- エ これまでとは違い、今回は思い込みをする前に、やめた方がいいと助言してくれること。

問二 空欄 に入れるのに最も適当な漢字二字の語を書きなさい。

問三 傍線部②「内側に勇気を出して、飛び込んでいく」とはどういうことですか、次の中から最も適当と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分を知るために自ら孤独になって孤独を十分に感じることで、逆に孤独に打ち勝つ勇気を得ていくということ。
- イ 先送りしてきた孤独に勇気を出して飛び込み、これまでとは違うより深い自分の内面を観照しようとする。
- ウ これまで怖がり、面倒くさがっていた孤独という環境に進んで身をおいて、その環境にある自分の外見を観察すること。
- エ 逆境に向き合い孤独に打ち勝つためには、まずは勇気を持って自らの内側を発見することが必要だということ。

問四 傍線部③「タキキニン」とありますが、どのようなホルモンですか、三十五字以内で説明しなさい。

問五 傍線部④「逆境が教えてくれる」こととは何ですか、そのすべてを端的に述べている箇所を本文から三十字以内で抜き出し最初と最後の三字（記号なども一字に数える）を書きなさい。

問六 傍線部⑤「利己的思考が満たされた」とはどういう状態ですか、次の中から最も適当と思われるものを一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の世界観を社会に浸透させていくことによって、よりよい世界を創造していけるようにま でなった状態。
- イ 逆境という体験を通して利己発見を極めて、そのあとに利己的思考を高めていけ ばいいだけになった状態。
- ウ 恐れではなく喜びにシフトできるようになって、利己的思考が自分の意識に占める割合が 高くなっている状態。
- エ 自分に誇りを持つことができるようになり、自分自身にたくさんの方がとうを伝えられる ようになった状態。

問七 空欄

Y

に入れるのに最も適当な漢字二字の語を本文中から抜き出しなさい。

6. バ. 国

〔二〕 傍線部の漢字を含むものをア～オの中から一つ選び、記号で答えなさい。(10点)

① くわしい説明はハブく。

ア 委員会からジョガイされる。

イ 自分のしでかしたことについてモウセイする。

ウ ハイスイロの工事をする。

エ 愛社セイシン。

オ 学年ごとにセイレツする。

② 友人がアラワした本。

ア ゲンバを仕切る。

イ トクテンヒヨウを見比べる。

ウ ケンザイ化する。

エ ロコツな塩対応。

オ チョメイ人。

③ 政策のイトを説明する。

ア 登場するタイミングをハカる。

イ 面積をハカる。

ウ 相互の連携をハカる。

エ 容積をハカる。

オ ムボウな作戦。

④ 気がキく人。

ア ヒャクブンは一見にしかず。

イ 容疑者にジンモンする。

ウ シチョウカク室から出る。

エ リエキ誘導をする。

オ シゲキが強すぎる。

⑤ 教室の空気がヤワらぐ。

ア ナンスイを飲む。

イ コウワ条約を結ぶ。

ウ 学校生活がジュウジツしている。

エ 旅館にシユクハクする。

オ 病気のカイフク期。

たが私の話の内容を理解しようと理解しまいと、あなたがいようとしまいと、私は今と同じことを言うだろう」と告げられて傷つかない人はいません。

ときどき③「ひとりうなずき」をする人がいますね。自分で話していて、自分の話に自分でうなずく。私は「ひとりうなずき」の語り手と対面していると、気が滅入めいってきます。言っていることが間違っていると、

元のことでありません。「おまえが私の話に同意しようと反対しようと、私は私の話に同意する」というきっぱりとした「聴き手無視」の態度に毒されて、なんだかこっちの生命力がよろよろと萎なえてきてしまうのです。

そういうものです。

目の前にいる人に「気づかわれている」と生きた心地ができて、「無視されている」とだんだん生命の炎ほのおが弱々しくなる。これはでも、人間として当然のことです。「シカト」といういじめ方が残酷ざんこくなのは、そこに人間を存在しない人間のように扱うことで、「おまえはもう死んでいる」と無言のうちに告知しているからです。「殺してやる」というのなら、まだこっちは生きているわけですから、対処のしようもありますけれど、「死んでいる」と言われてしまうと、もう手も足も出ません。

私たちを傷つけ損なうコミュニケーションがどういふものかがわかると、それをひっくり返すと、私たちが愉悦を感じ、生きていく実感が湧いてくるコミュニケーションがどういふものであるかもわかります。

私たちが聴いて気分のよくなることばというのはいくつかの種類がありますが、そのすべてに共通するのは（誤解を招く表現ですが）、そこに誤解ごかいの余地よちが残のこされているということです。

奇妙に聞こえるでしょう④？

でも、誤解の余地なく理解が行き届いたコミュニケーションではなく、誤解の余地が確保されているコミュニケーションこ

それが、私たちにコミュニケーションをしている実感をもたらししてくれるのです。

十代の若い人たちは、非常に会話の語彙が貧困です。これは、みなさんも認めてくれると思います。

「むかつく」とか「うざい」とか「きもい」とか「かわいい」とか、ほんとうに十個くらいの単語だけで延々と会話している女子高校生などを電車の中でみかけます。

ふつうの大人の人は、そういうのを横で聴いて「近頃の若いもんは、なんという貧しいボキャブラリーで意思疎通を行っているのだろう。あんなことでちゃんとしたコミュニケーションが成立しているものであろうか」と苦々しい顔をしつたりします。

まったく、おっしゃる通りです。

あれじゃ、意思疎通はできっこありませんね。

洋服を見ても「かわいい」、化粧けしょうを見ても「かわいい」、音楽を聴いても「かわいい」。

あれでは、そのような形容詞を交わし合っているもの同士でも、何を言っているのかお互いたがの心の中がわかっているとはとても思われません。「かわいい」のが洋服の色について言われているのか、デザインについて言われているのか、ボタン穴の微妙な位置関係について言われているのか、スリットの角度について言われているのか、「これ、かわいいね」「うん、かわいいね」だけじゃ、わかりっこありません。

……ほらね。

ちゃんと、若い人たちだって、わざと誤解の幅があるように、コミュニケーションしているでしょう⑧？
それこそがコミュニケーションの「王道」だからです。

形容詞十個だけのチョー貧しいコミュニケーションでは、お互いに「何を言っているのか、よくわからない」。だから、聴く人間をつねに「不確かで曖昧な位置」にとどめおくことができる。それゆえに、これらの会話はコミュニケーションとして成立しているんです。

子どもたちが限定した語彙でしかコミュニケーションできなくなったというのは、たしかに一つの「退行」現象ではあるのですが、人間というのは、本人にしかわからない切実なる理由があって「退行」しているんですし、退行するときだって、必ずそれなりのしかたで「戻り道」を確保しているんです（ヘンゼルとグレーテルが森の小徑に撒いたパンくずみたいに）。

彼らのあの⑤チヨ―貧しい語彙は、「自分の言いたいことをきちんことばにしなさい」という言われ方で、学校教育ですと「正しい」とされてきた「自己表現」の強制に対する、子どもたちの側からの「ノー」ではないかと私は思っています。「そんなことばづかいじゃ、コミュニケーションできない」、そういうふうに感じている子どもたちが、生半可な自己表現に自分を託すことを拒んで、ある種の失語症をみずから進んで病むことで、⑥コミュニケーションを回復しようとしている。そんな気が私にはするのです。

（内田樹『先生はえらい』）

問一 傍線部①『『わかる』』ことは、コミュニケーションを閉じる危険とつねに背中あわせです』とあるが、どういうことですか。次の中から最も適当なものを選び、記号で答えなさい。

ア 相手のことを話す前から全部わかっていると、相手とのコミュニケーションは不要だと思われる可能性が大きいということ。

イ 相手の言うことがあらかじめ知らされていると、相手とのコミュニケーションは無用だと思われる可能性が大きいということ。

ウ 相手の言うことがすべてわかったと思い込んだ時点で、相手との話し合いを打ち切ってしまう可能性が大きいということ。

エ 話がつまらない人間だと自分のことがわかられてしまうと、話す必要はないと思われる可能性が大きいということ。

6. バ. 国

問二 傍線部②「そういう人の話を聴かされると、弱い酸に侵おかされるように、深いところで傷つけられます」とありますが、なぜ「傷つけられ」るのですか。本文中の言葉を用いて六十字以内で説明しなさい。

問三 傍線部③「ひとりうなずき」とありますが、筆者は「ひとりうなずき」をどのような態度と考えているのですか。五十字以内で説明しなさい。

問四 空欄④に入らないものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 瘰癧しやく
イ 癩かん
ウ 体
エ 気

問五 傍線部④・⑤の「？」の意味について、次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア ④・⑤ともに疑問の意味で用いられており、読者に答えを求めている。

イ ④は疑問の意味で用いられており、読者に答えを求めているが、⑤は反語的な意味で用いられており、読者に同意を求めている。

ウ ④は反語的な意味で用いられており、読者に同意を求めているが、⑤は疑問の意味で用いられており、読者に答えを求めている。

エ ④・⑤ともに反語的な意味で用いられており、読者に同意を求めている。

問六 傍線部⑤「チョー」とあるが、筆者がこの語を用い、しかもカタカナで表記した理由は何だと考えられるか。本文の内容から考えて、次の中から最も適当なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「チョー」というのは若い人の「貧しい語彙」の一つであり、それをことさらに用いることで彼らの語彙の貧困さを暗に批判したかったから。

イ 「チョー」とあえてカタカナで書くことで、若い人の語彙の貧困さが生半可なレベルではないことを強調し、彼らに気づいてもらいたかったから。

ウ 「チョー」は若い人の貧しい語彙の一つであるので、それを筆者も用いることで筆者が若い人の語彙の貧しさを否定していないことを示したかったから。

エ 「超」と漢字で書くと堅苦しくなってしまう、この文章を読んでもらいたい若い人から反発を受け、読んでももらえなくなることを怖れたから。

問七 傍線部⑥「コ、ミ、ユ、ニ、ケ、ー、シ、ョ、ン」とはどのようなコミュニケーションですか。本文中の言葉を用いて四十字以内で説明しなさい。

*採点に使用します

6 3 3 3

6

6 3 10 8 8 8

12 8 8 8

三 二

一

		問七	問六	問五	問四			問三			問二	問一	①	問七	問六	問五			問四	問三	問二	問一	
ケ	の	限	ウ	エ	ウ	レ	話	と	聴	に	い	す	聴	ウ	逆	エ	フ	ン	内	孤	イ	才	ア
ル	余	定				の	に	は	き	意	な	人	き		境		自	。	観	独		能	
シ	地	し				態	同	ど	手	識	く	の	手		オ		分		力	を		能	
ヨ	が	た				度	意	う	が	さ	て	話	に				く		を	感		力	
ン	確	語				。	す	で	ど	せ	も	を	何		③		く		高	じ		。	
。	保	彙					る	も	う	ら	い	聴	の		ウ		カ		め	る		資	
	さ	で					と	よ	思	れ	い	か	興				レ		る	と		質	
	れ	行					い	く	お	苦	人	さ	味		④				働	脳		。	
	て	う					う	、	う	痛	間	れ	も		エ				き	内		素	
	い	た					フ	自	が	だ	で	る	示						を	に		質	
	る	め					聴	分	、	か	あ	と	さ		⑤				す	放		。	
	コ	に					き	は	そ	ら	る	、	な		イ				る	出		。	
	ミ	、					手	自	ん	。	と	自	い						ホ	さ		。	
	ユ	誤					無	分	な		確	分	で						ル	れ		。	
	ニ	解					視	の	こ		実	が	話						モ	、		。	

受験番号

氏名

採点

*採点に使用します

Blank box for score

Blank box for score

Blank box for score